

＜特集 研究発表会報告＞

第18回環境システム計測制御研究発表会 全体報告

第18回環境システム計測制御研究発表会

実行委員長 高見澤真司

(富士電機システムズ㈱)

第18回環境システム計測制御研究発表会は、10月30日(月)・31日(火)の両日に渡り京都大学百周年時計台記念館にて開催され、約330名のご来場を頂き、基調講演、パネルディスカッション、58件の論文発表に、活発な討議が行われました。

ご協力頂きました関係各位、ならびにご参加頂きました会員各位に厚く御礼申し上げます。

研究発表会の全体概要について以下にご報告致します。

第1日目のオープンセッションは、松井会長の開会挨拶に始まり、ご来賓として、京都市公営企業管理者 上下水道局長 吉村憲次様よりご挨拶を頂きました。



京都市公営企業管理者
上下水道局長 吉村憲次氏

基調講演を京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻(専攻長)内山巖雄教授より、「化学物質管理とリスクコミュニケーション」と題してお話頂きました。



京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
専攻長 内山巖雄教授

基調講演に続き、「環境システム計測制御に係わる安全と安心」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。内山巖雄教授を座長として、横浜国立大学名誉教授 清水久二氏、(財)大阪市下水道技術協会理事長 高柳枝直氏、(財)下水道新技術推進機構企画部長 中里卓治氏、(株)東芝水・環境システム企画部長 篠原哲哉氏をパネラーとしてディスカッションが進められ、会場の参加者も交えて活発な議論が行われました。



パネルディスカッション
「環境システム計測制御に係わる安全と安心」

研究発表では、4会場16セッションに分かれ58件の論文について、発表と討議が熱心に行われました。

本研究発表会では、従来のセッションに加えて、「維持管理」セッション、また、若手技術者による「特別企画」セッション未来プロジェクト「若手技術者が描く未来環境予想図」が企画されました。

懇親パーティーでは、ご来賓、講師の諸先生を囲み参加者との有意義な意見の交換の場となりました。

同席上、表彰式が行われ、本会の発足以来、会の発展に多大な貢献をされ、本年度の総会にて副会長を退任されました、京都大学 武田 信生殿 に功績賞が授与されました。



功績賞を授与される 京都大学 武田 信生教授

また、奨励論文の表彰式も行われ、次頁の通り、6編の論文が奨励論文として選考され、松井会長より賞状と副賞が受賞者に手渡されました。

今回の研究発表会開催に向けご協力頂きました京都大学関係各位ならびに組織委員、座長を引き受け頂きました関係各位にこの場を借りて心よりお礼申し上げます。